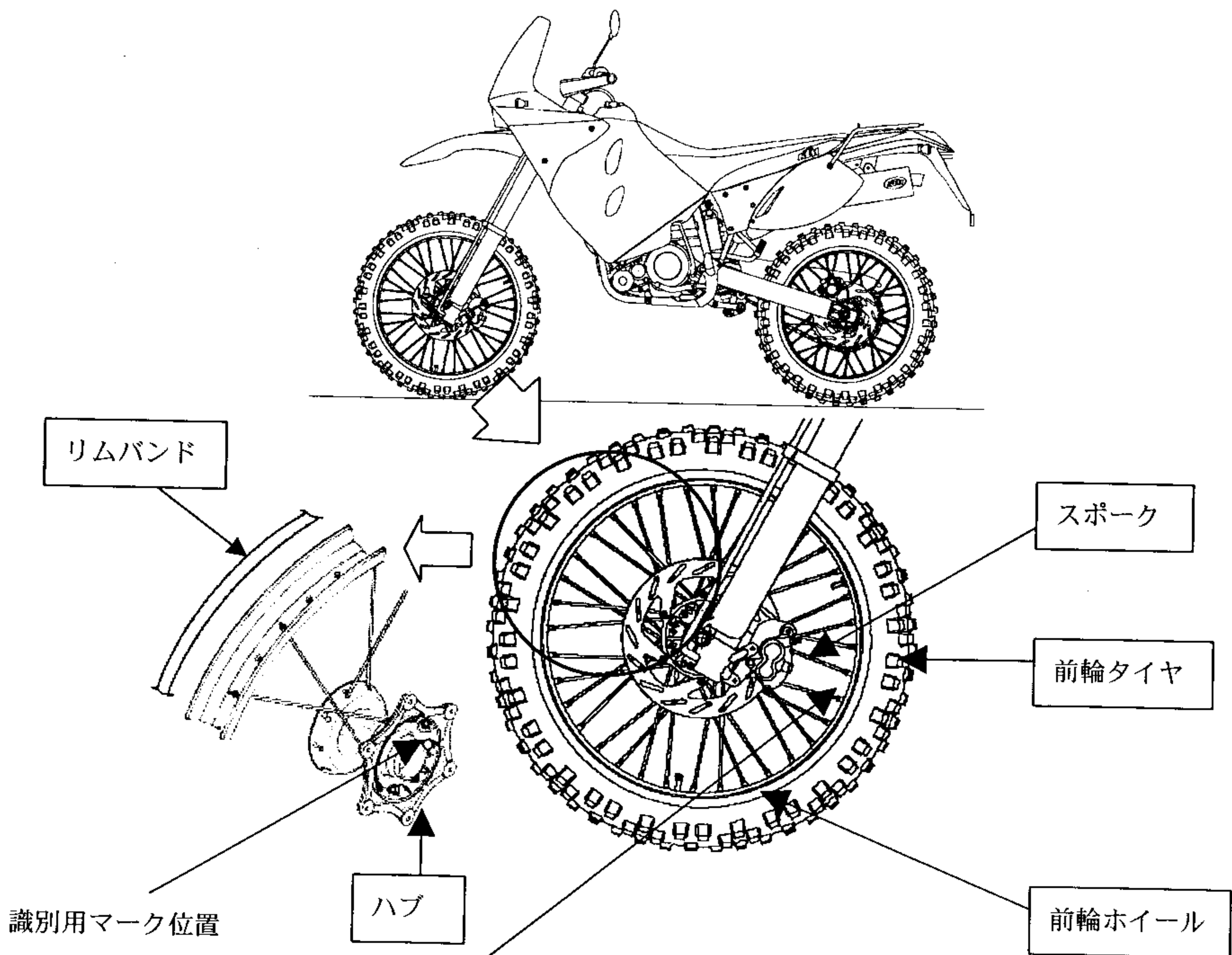


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

前輪ホイールのスポークの調整が不適切であったため、スポークの製作時の張力が均一でないものがあり、走行時に高い荷重を繰り返し受けると当該スポーク部が折損することがある。そのままの状態で使用を続けると最悪の場合、折損したスポークがタイヤチューブを損傷させ、前輪タイヤがパンクし走行不能となるおそれがある。

改善の内容：全車両、新品タイヤを組み付けた良品のホイールと対策リムバンドに交換する。

交換識別の方法：作業完了後、ハブ左側面に白色ペイントマークを塗布する。

注： は交換部品を示す。